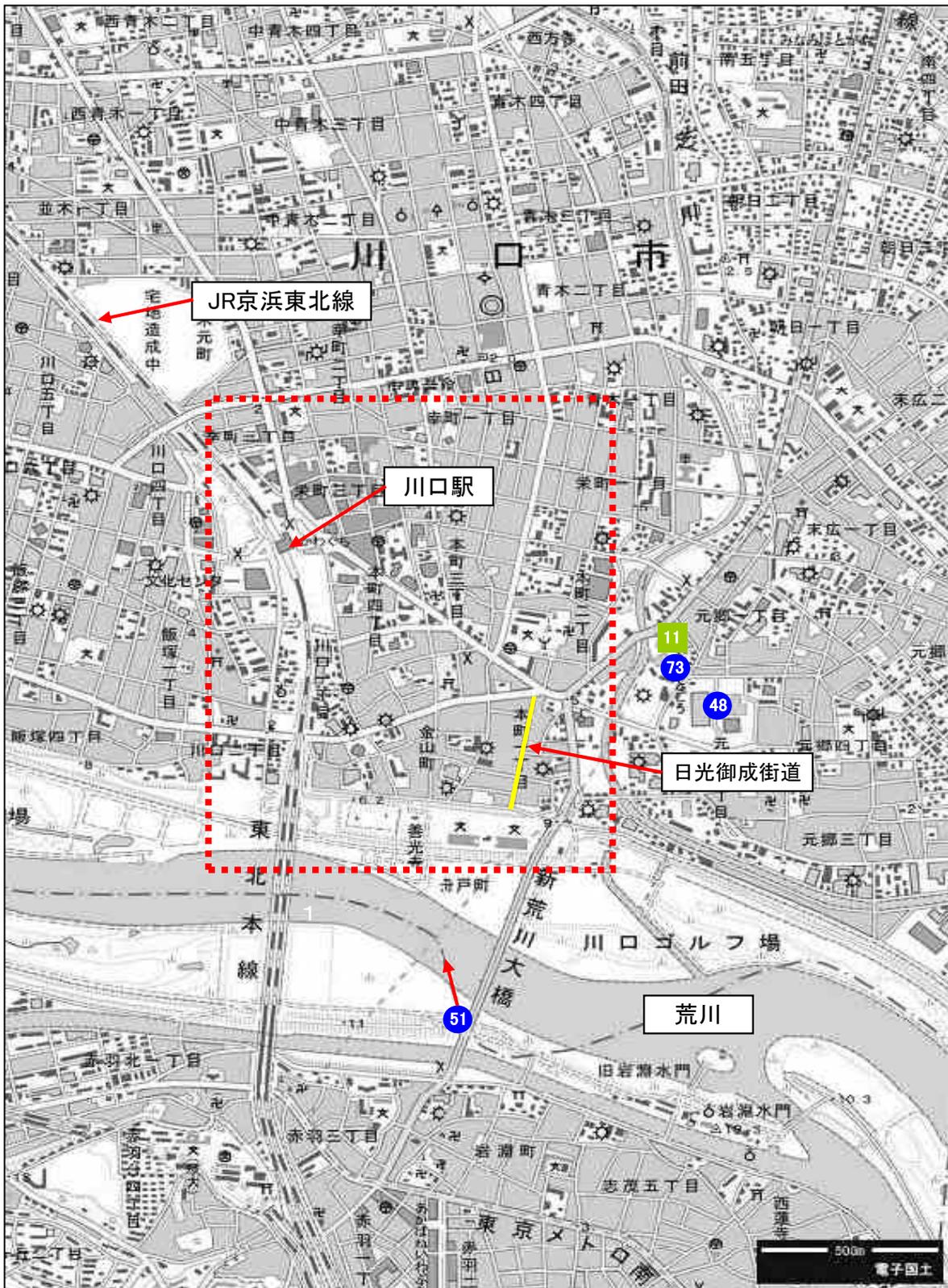


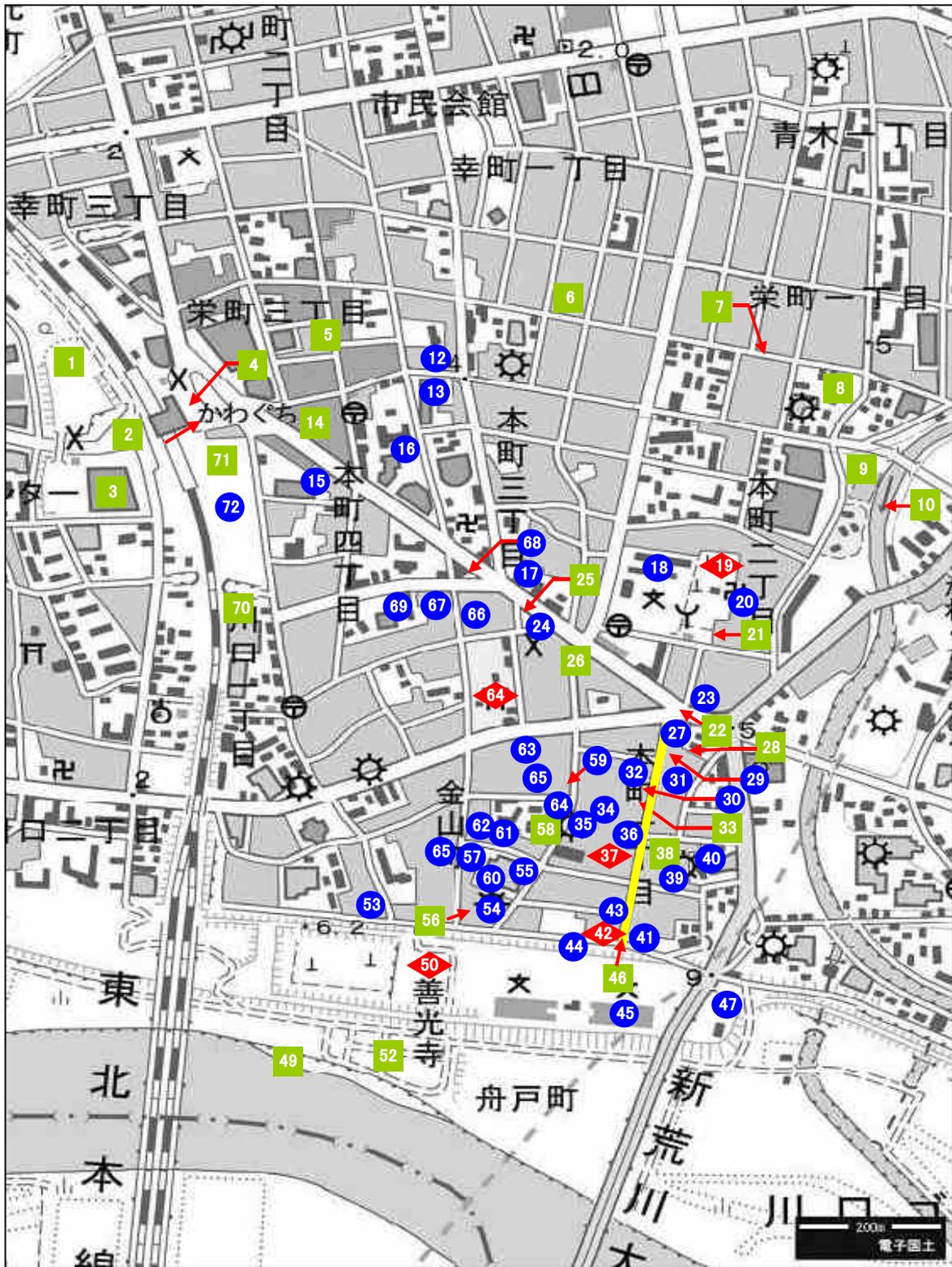
川口



案内図

 調査範囲

川口



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

川口



日光御成街道の川口宿は、本陣1軒、脇本陣1軒、旅籠10軒があり、その第二宿として繁栄した。高度成長期には、溶鉱炉(キューボラ)が乱立する鑄物工場街として栄えたが、バブル経済崩壊後は工場閉鎖があいつぎマンションが建ち並ぶ住宅都市へ変貌している。(写真は、岩淵側から臨む川口市中心部の高層マンション群の景観)

1

川口西公園



川口駅の西口に整備された自然豊かな公園で、彫刻や広場の配置と流れの変化を演出し、市民の憩い場となっている。

2

川口駅西口広場



西口広場のロータリーの中心には高木のシンボルツリーが植えられ、その周りを花々が彩っている。川口市は、植木産業の盛んな街でもある。

3

総合文化センター・リリア



川口駅西口にある総合文化センター「リリア」のメインホールではコンサート等が開催される。

4

駅前広場上のデッキ



川口駅前のペDESTリアンデッキの欄干をはじめ、照明灯等にも鑄物製品がふんだんに使用されている。

5

緑と太陽のモール



活気のある商店街と、街路樹やモニユメントがある美しく楽しい通りで「出会いを演出する街角」となっている。

6

住宅と樹木



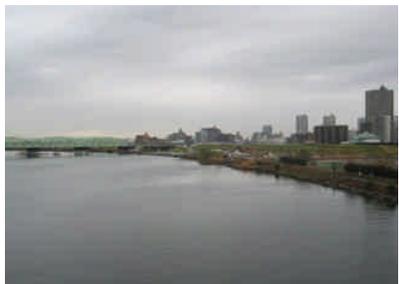
道路に接する大木を見せるため、敷地の塀の方をセットバックさせて景観に配慮している。

7	コミュニティ道路	8	公開空地	9	遊歩道
					
道路の幅員を変化させたり、舗装の一部を着色して自動車を走りやすくしてあるコミュニティ道路である。自動車より自転車がよく通る道路である。		マンションの公開空地で植栽や彫刻等のデザイン性が高く、ベンチ、樹木遊歩道等のコミュニティ形成に役立つ物が設置されている。		SR川口元郷駅近くの幅員7.5mの広い遊歩道で植栽も美しく整備され、歩きやすい歩道である。	
10	芝川	11	SR川口元郷駅		
					
川岸がきれいに整備がされており、川沿いの遊歩道が美しい。かつては、川沿いに鋳物工場が立地していた。		新しく開通したSR駅のロータリー。バス停やタクシープールがきれいに配置されている。			
13	店舗			15	川口センタービル
					
木製建具のガラス戸、正面の屋号のディスプレイが昭和を感じる造りの店舗である。				エントランスの半円形のひさしと全面ガラス張りの正面、そして屋根の三角錐のトップライトが目を引く近代的なビルである。	

<p>16 中央ふれあい館</p>		<p>18 本町小学校</p>
		
<p>ビル最上部の楕円形の白い壁が目を引く。足元は通り抜けできる自由通路となっている。</p>		<p>明治6年に開校した川口市で最も古い小学校である。建物の色彩、塀のデザインがお洒落である。</p>
<p>19 錫杖寺(しゃくじょうじ)</p>	<p>20 蔵</p>	<p>21 寺脇の路地</p>
		
<p>本堂は石段を上った高台にあり迫力がある。徳川家二代将軍秀忠が日光参拝時の休憩所として使われ、以後歴代将軍の御休憩所となった。県指定文化財の銅鐘もある。</p>	<p>錫杖寺の境内に立つ蔵。円形の屋根でシンプルなデザインである。</p>	<p>ブロック塀に挟まれているが、錫杖寺の雰囲気をも漂わせる落ち着いた路地である。</p>
<p>22 マンションと駅前通り</p>	<p>23 店舗</p>	<p>24 交番</p>
		
<p>駅前の「本町大通り」は、県道1号の始点で無電中化されている。沿道にはマンション等が並ぶ中心市街地が形成されている。</p>	<p>石造り風のレトロな店舗であり、正面が看板になっている。</p>	<p>古くからよくある形の交番であるがとても大きく、地元では「マンモス交番」として親しまれている。</p>

25	本町緑地	26	道路付帯地	27	店舗
			<p>交差点の三角地に作られた小さな緑地で、腰を下ろすところもありホッとできる空間である。</p>	<p>四つ角の三角地を活用してタイルで舗装されたポケットパーク的な空間である。</p>	<p>幾何学文様の銅版葺きの外壁が美しく印象的な看板建築である洋品店。</p>
28	路地	29	店舗	30	店舗
			<p>平屋建の住宅とブロック塀にはさまれた路地で、昭和30年代を思わせる雰囲気がある。</p>	<p>懐かしい感じがするレトロなパン屋。</p>	<p>板の雨戸が趣深く、懐かしさを感じる建物である。中にはガス灯が見える。</p>
31	店舗	32	店舗	33	かじまの路地
			<p>1階庇の屋根が銅板葺きの古い店舗。黒板の金文字は右読みにしている。本一通りでは一番古く、創立当時から変わっていない建物である。</p>	<p>前面が石造りのレトロな菓子店。2階部の3つ縦長窓が特徴的である。</p>	<p>レンガ壁と白壁の塀が対比されたユニークな路地。幅は約1mほどである。</p>

34	住宅	35	住宅	36	市街地の路地
					
<p>煉瓦で造られた発電所跡地の横に立つ立派な洋館である。建築年不祥。</p>		<p>大谷石の塀で囲まれた住宅で、高い門柱と小さな入り口が印象的である。</p>		<p>昭和初期を思わせる軒先の低い家々の前に細い路地が残る。</p>	
37	川口宿本陣跡	38	路地	39	住宅
					
<p>路地を入っていったところに長屋門があり、これが川口本陣門である。</p>		<p>市街地に残る路地の跡。左側はマンションに建て替えられたため開けている。</p>		<p>木製建具のガラス戸が美しい民家である。</p>	
40	工場			42	東京大空襲の記念碑(鎌倉橋)
					
<p>鋳物・機械で発展した街ならではの工場が今でも散見することができる。</p>				<p>鎌倉橋の碑の横に東京大空襲を見つめる親子像がある。鎌倉橋とは、昔このあたりを流れていた小川に架かる橋であった。</p>	

43	住宅	44	舟戸小学校のフェンス	45	川口市立南中学校
					
<p>同じ敷地内の建物をつなぐ渡り廊下がユニークである。</p>		<p>学校の建物は鋳物工場を模しているように楽しげである。ひまわりのデザインは校章から用いられている。</p>		<p>校舎のデザインは、鋳物と機械の街ならではの工場のスカイラインをモチーフとしている。</p>	
46	日光御成道	47	風力発電機	48	エルザタワー
					
<p>川口宿の入り口。わずか400m程で、すぐ通り抜けられる距離である。</p>		<p>川岸にある風力発電機で羽と違いユニークな形で車からも目を引くものがある。</p>		<p>川口市の現代の景観を象徴する超高層マンションである。竣工当時は日本一高いマンションであった。</p>	
49	荒川	50	善光寺	51	マンション群
					
<p>新荒川大橋に立つと川口を思わせる景観を見渡すことができる。</p>		<p>荒川堤防の脇にある真言宗の寺院。1197(建久8)年の創建で南北朝中期以来、善光寺と称された。江戸時代には日本三大善光寺のひとつとして信仰された。</p>		<p>荒川堤防からみえる市街地に建ち並ぶマンション群。鋳物工場跡地等を活用して中心市街地を形成している。</p>	

52	荒川	53	工場とマンション	54	工場
					
<p>堤防から見る広々とした河川敷は気持ちが良い。鉄道橋、道路橋そして対岸には東京都北区の遠景が臨める。</p>		<p>堤防下に建つチョット古い昭和の感じを残した鑄物工場。スレート葺きの大きな屋根と壁が目を引き。すぐ後ろにマンション群が迫っている。</p>		<p>かつては川口市の多くで見られた鑄物工場の風景であるが、現在はその数がかなり減少している。</p>	
55	住宅	56	路地	57 -1	川口母子福祉センター
					
<p>歩行者の目線の高さに植栽があり、やや低いところに、デザインと色彩が面白い鑄物製のフェンスで囲まれた住宅である。</p>		<p>幅員の違う道路に沿ってブロック塀が続く路地。</p>		<p>大正、昭和の初期に建てられた和洋折衷の建物。洋館の小窓のステンドグラスや趣のある中庭の風景も印象的である。</p>	
57 -2	川口母子福祉センター	57 -3	川口母子福祉センター	58	金山町緑地
					
<p>鑄物問屋「鍋屋平五郎」(本一通りで明治時代から昭和初期にかけて営業していた)の「鍋平」4代目の居宅跡である。</p>		<p>庭園から見た離れである。</p>		<p>マンションに挟まれて綺麗に整備された舗装部と植栽が癒しになる緑地である。</p>	

59	住宅	60	住宅	61	店舗
			<p>古い和風住宅に洋室が増築され、その洋室が印象的な和洋折衷の住宅である。</p>	<p>大谷石積の塀、黒い瓦屋根、庭の植栽が目を引き立派な住居である。</p>	<p>木製建具のガラス戸、木の格子戸、2階窓の木製手摺、瓦屋根が印象的である。1階の一部に洋風の部屋を増築している。</p>
	63	店舗	64 -1	川口神社	
			<p>こげ茶色の板壁と1階の木製建具の大きなガラス戸が目を引き米穀店である。</p>	<p>通りに面して大きな石の鳥居の先に赤い屋根の山門がある。川口の総鎮守であり、平安時代から存在した。</p>	
64 -2	川口神社	66	住宅		
			<p>本殿は、うっそうとした大木に囲まれ銅板葺きの大きな屋根の社がある、境内の2本のスズカケの木はシンボルツリーである。</p>	<p>塀に囲まれた敷地の中にある丸みをつけた瓦屋根の洋風住宅である。</p>	

67	住宅	68	店舗	69	店舗
					
<p>住宅の周囲の一部に竹の植栽(竹林)があり落ち着いた景観を造っている。</p>		<p>小さな三角地に建つ小さな三角形の店舗が印象的である。</p>		<p>ちょっと昭和を感じる建物で、紺の暖簾と木製建具のガラス戸が懐かしさを感じる。</p>	
70	公園	71	キューポラ広場	72	複合ビル(川口中央図書館等)
					
<p>高層マンションの一角に、インターロッキング舗装と植栽で綺麗に整備された公園。川口市を象徴する鋳物製品がオブジェとして展示され、その歴史を感じさせてくれる。</p>		<p>駅前の複合ビル前に創出された広く綺麗なスペースでペーパメントや植栽、モダンな照明で整備されている。公共施設の入る複合ビルの大きなガラス面も目を引くデザインである。</p>		<p>川口駅前の複合ビルは、川口中央図書館等が設置され、市民に親しまれている。</p>	
73	キューポラ				
					
<p>鋳物工場街を象徴するものであった溶鉱炉の煙突(キューポラ)は、工場の減少に伴い珍しいものとなっている。</p>					